

ひびぎ



No. 20

ドラム缶工業会会報

理事長就任にあたって

このたび、山口前理事長の後を受け、第16代目の理事長に就任いたしました。大変な重責であります。みなさまのご協力をいただき全力を尽くしてその任にあたりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶を申し述べる前に山口前理事長に謝意を表しておきたいと思っております。山口前理事長は、在任中、国際規格の制定、需要業界との定例協議会の設置など懸案事項を次々と実現、さらにはナホトカ号事件の対応などをおしてドラム缶のイメージアップを推進するなど、大きな足跡を残してこられました。ここに心から御礼申し上げる次第です。

さて、昨今の経済情勢であります。大変に厳しい状況にあることはみなさまご高承のとおりであります。当ドラム缶業界においても、景気の波の影響をあまり受けない業界であると言われておりますが、いまや最悪の時期にさしかかりつつあり、特にこの4月以降のドラム缶需要の低迷振りには目を覆わんばかりのものがあるといえます。これに加えて、各種の要因から販売価格は下落傾向に歯止めがか

ドラム缶工業会理事長
安達 良英
(日鐵ドラム株式会社代表取締役社長)



からず、このため会員各社の経営状況は悪化の一途をたどるの止むなきに至っております。

こうした深刻な状況に対し、政府における景気対策が効果的かつ速やかに実施され、遅くとも下期からはドラム缶の需要が回復に向かうことを切に期待するものであります。私たちドラム缶工業会としても、ただ時の流れに身を任せているわけにはいかないのでありまして、本来の目的である「ドラム缶業界の健全な発展を図る」ために、私たちが工業会としてやる事が出来ることは何かを真剣に見つめなおし、共通の利益実現に向かって力を合わせていくことが今は何よりも重要であると考えているところであります。

このような観点から、私は以下の諸点に精力的に取り組んでいきたいと思っております。

まず第一に、現状に対する緊急対応策として雇用調整助成金制度における業種指定を早急に実現したいと思います。これについては特に説明を要しないと思っておりますが、申請には統計面などで会員各社のご協力が必要ですので、是非スピーディーな対応をお願いしておきたいと思っております。

次に相互理解の一層の進展と連携の強化についてであります。現今の如き先行き不透明な状況下にあつては、会員相互の理解と連携が何にもまして大切であることは申すまでもありませんが、ドラム缶工業会としてはさらに一歩踏み込んで、ユーザーや更生缶業者などドラム缶に携わるすべての関係者を包含したところで、調和のとれた安定した市場を育成していくことが、ドラム缶業界の健全な発展につながるかと考えるべきでありましょう。幸いにして、山口前理事長のご努力により(社)日本化学工業協会との協議の場

新役員紹介

理事長	安達 良英 日鐵ドラム(株) 代表取締役社長
副理事長	山本 雄造 山本工作所 代表取締役社長
常任理事	松田 稔 大同鉄器(株) 代表取締役社長
	近藤 徹 川鉄コンテナ(株) 代表取締役社長
	谷口 勲 鋼管ドラム(株) 代表取締役社長
	阿部 肇 ダイカン(株) 代表取締役社長
	長尾 浩志 長尾製缶所 代表取締役社長
委員長及び支部長	
企画委員長	中川 義幸 日鐵ドラム(株) 専務取締役
国際委員長	伊地知邦治 川鉄コンテナ(株) 常務取締役
業務委員長	吉本 洋司 鋼管ドラム(株) 専務取締役
技術委員長	高橋 秀光 日鐵ドラム(株) 取締役
ペール委員長	折原 隆 新邦工業(株) 専務取締役
関西支部長	前田 義蔵 鋼管ドラム(株) 常務取締役

が発足いたしておりますし、更生缶業界とは既に長い定期的協議会の歴史をもっておりますので、この場のさらなる有効活用を図り、相互理解を深めるとともに共同で山積する難題に取り組んでまいりたいと考えております。

また、近年とみに地球環境問題がクローズアップされてきております。ドラム缶はリサイクルの優等生であり、環境に優しい容器として誇れるものでありますが、部分的には現在有害塗料の問題が提起されつつあります。これは本質的には我が業界の問題ではありませんが、「環境に優しいドラム缶」の名にかけてこの解決法を追求し、需要家の皆さんに適切な判断材料を提供できるよう努めたいと思います。

なお、国際問題については、これまで永井元理事長がICDM会長としてこの3年間世界をリードしてこられ、その功績とご苦勞に対し深く敬意を表するものでありますが、私は永井氏及び山口氏の敷いてきた路線を受け継ぎ、積極的に対応していきたいと考えております。

以上、いくつか私の考えを述べてまいりましたが、この混沌とした厳しい時代に理事長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。いまだ経験も浅く、何かと各方面からのご支援を仰ぐこととなりますが、理事をはじめ皆様の温かいご協力を得つつ、業界の発展に微力を尽くしたいとお願いいたしておりますので、今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

ドラム缶こぼれ話

第一話

ドラム缶生みの親は 世界最初の婦人記者

鋼製ドラム缶製造の歴史は約1世紀前に始まった。その小さな流れは今や大河となって、なおも未来に向かって滔々と続いていくことだろう。そこで、本号から、その源流に遡り、歴史の一コマを飾る数々のエピソードを、時間の流れに沿って取り上げていこうと思う。従って、まずはドラム缶誕生にまつわる話から――。

* * *

時は1903年(明治36年)、所はアメリカで、世界初の鋼製ドラム缶が誕生した。生みの親は女性、その名をエリザベス・コー克蘭・シーマン婦人という。かつて夫とヨーロッパを旅行した際、グリセリン用容器を見聞したことがヒントとなり、この年、現在のドラム缶の原形とも言える金属容器を考案し、デザイン登録した。

ドラム缶の生みの親が女性という意外性にもまして、彼女が若き頃、かの新聞王ピューリッツァーに見出された世界最初の婦人記者であったことにも驚かされる。むしろペンネームのネリー・ブライの名は、19世紀後半のアメリカでは“超”有名人であった。

子供の頃、ジュール・ヴェルヌの『80日間世界一周』を読んだことがある方も多いと思う。映画にもなったので名前ぐらいはご存じだろう。ヴェルヌの作品は当時の世界的ベストセラーで、アメリカでも大人気。これに着目した行動力溢れるネリー・ブライ女史は、1889年(明治22年)、敢然とこれにチャレンジ、何と72日間で世界を一周してしまった。フランスではヴェルヌに会い、横浜にも立ち寄っている。22歳の女性がたった一人で世界一周するなど、当時の交通事情からして考えられない出来事だったに違いない。冒険好きのアメリカ人は彼女を讃え、歌にまでした。

この進取の気性に富んだ女性が考案したドラム缶は、ほぼ1世紀を経た今日もその形状をほとんど変えていない。それだけデザインが優れていたと言えよう。また、容量200ℓもほぼ当時のままである。これは人が扱える限界の重さと考えられていた。もともと、これは大男揃いのアメリカ

での話。歴史に「もし」は禁句だが、日本で考案されたなら、もう少し小振りのドラム缶が誕生していたかも……。

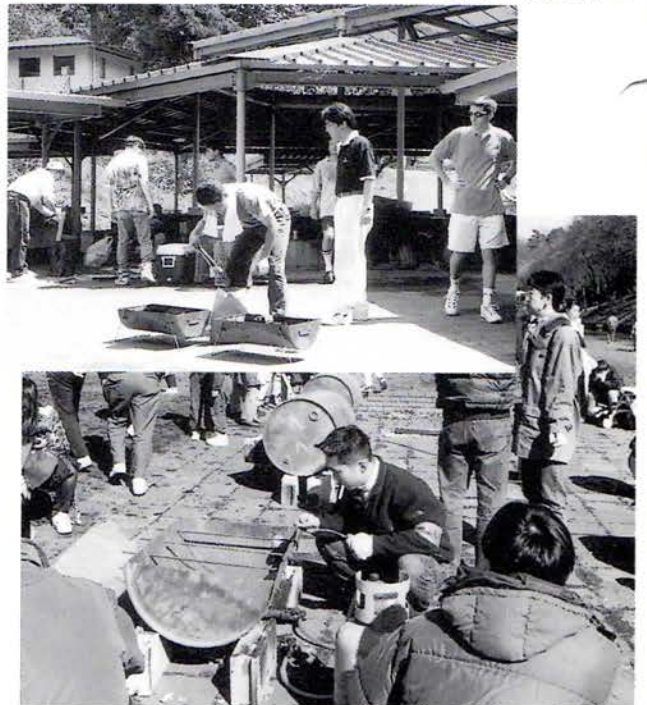
何の変哲もない容器としか見えないドラム缶だが、その中には、一人の女性の波瀾万丈の人生と数々のエピソードが詰まっている。



シリーズ・野外炊事

太陽と緑の林を見ながらのバーベキュー

(撮影：広瀬弘二)



DATA
FILE

平成10年上期(1月～6月)ドラム缶・缶種別・用途別出荷本数

単位：千本

用途 缶種		石油	化学	塗料	食料品	その他	合計	前年比 %
200	Q 缶	898	4,160	328	88	184	5,658	89.1
ペ	ー ル	6,170	5,161	375		335	12,041	93.0
100	Q 缶	5	103	微		1	109	107.6
50	Q 缶		150			15	165	122.8
ア	ス 缶 型	3	3				6	35.6
その他容量缶		2	236		微	5	243	73.4
200 Q	垂鉛鉄板缶		56	2	微	3	61	98.3
	ステンレス缶		7				7	79.5
	小 計		63	2		3	68	96.0
中 小 型	垂鉛鉄板缶		105	1			106	79.5
	ステンレス缶		7		微		7	258.2
	小 計		112	1			113	83.2
合 計		7,078	9,988	706	88	543	18,403	91.6
前年同期比		89.3	90.2	81.3	147.2	80.1	89.6	—
構 成 比		19.4	70.5	5.4	1.4	3.3	100.0	—

(注) 構成比は、ドラム缶の出荷トン数の構成比。

平成10年上期出荷実績



犬の性格

我が家には名前を「太郎」という体重65kgの超大型犬がいる。

普通、犬は飼い主であるご主人様に忠実なのが当たりまえであるが、我が家の犬はとんと可愛げというものがない。私が出掛ける時や帰宅した時など、尾っぽを振るでもなく、寄りつく訳でもなく、名前を呼んでもソッポをむいたまま、ときたま上

目づかいに私を一瞥するだけ。良く言えば泰然としているともいえるが、しかし雷や花火の音がすると、恐怖で顔つきが変わり、風呂場や押入に逃げ込む有様で、とても犬仲間には見せられない醜態を演じる弱虫でもある。

飼い主に余り押れないのは、犬種の性格も多少はあるかもしれないが、家内の言うことは良くきくことからすると、そうとばかりは言えないかもしれない。家内に言わせると、「太郎はみんなわかっています。ただ、人を見るんです。飼い主に似るんで

す。」とのこと。

犬はその家族内の序列や雰囲気敏感に反応し、上位の者には服従し、下位の者はバカにするとよくいわれる。私はその点では大丈夫と自負しているが、とすれば、どうやらその可愛げのない性格は、飼い主に似ているのかも知れない。確かに散歩中の犬達を見ていると、その飼い主の顔つきや雰囲気はどこか似ているような気がしてならない。

愛想のない愛犬の態度を見ながら、自分の性格を反省する今日この頃である。(大野 良司)



株式会社 大和鐵工所

弊社は昭和7年に創業し、昭和12年に鋼製ドラム用口金の大量生産を目標として製造販売を開始いたしました。

以来お客様のニーズに応えるべく数々の研究開発を行い、各種特許を取得いたしております。

なかでも冷鍛プレス加工技術、凸部付フランジ、フランジ用・プラグ用EPRガスケット、D形ポリパッキン、外ねじ式口金、樹脂製キャップシール等が弊社の口金の特徴といえる技術です。最近ではドラム内容物の品質保証のためのリングシールを開発しご好評いただいております。

昭和30年にJIS表示許可工場となり、また、平成10年7月にISOの認証を取得いたしました。

今後なお一層品質の向上に努力してまいり所存でございますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



三喜プレス工業 株式会社

当社は昭和32年より鋼製ドラム用オープンバンドの製造を開始いたしました。

スタート時に比べオープン缶の多種、多様化により当社も鋼製ドラム用、ステンレス用、(樹脂用、ファイバー用)各種オープンバンドを生産するに至り、多くのお客様に品質の良い製品をご提供させていただいております。

「お客様のご要望に対する敏速な対応

より良い品質への向上、豊富な品揃え」

を当社のモットーとし今後もさらに努力、研究を重ね、満足できる製品を製造していく所存であります。

今後共引き続きご愛顧下さいますようお願い申し上げます。

〈賛助会員〉

エノモト工業株 三恵マツオ株 丹南工業株 株大和鐵工所
三喜プレス工業株 株城内製作所 株水上工作所 東邦工板株

ドラム缶工業会

東京都中央区日本橋茅場町3-2-10

(鉄鋼会館3階)

TEL 03-3669-5141 FAX 03-3669-2969

ADK 秋田ドラム工業株式会社
秋田市土崎港北6-2-22 ☎ 0188-45-1105

川鉄コンテナ株式会社
大阪市北区堂島浜2-1-29 ☎ 06-344-9711

協和容器株式会社
新潟市下木戸2-4-20 ☎ 025-274-0371

鋼管ドラム株式会社
東京都中央区銀座8-11-11 ☎ 03-3574-0711

斎藤ドラム缶工業株式会社
横浜市鶴見区生麦3-15-14 ☎ 045-521-3881

山陽ドラム缶工業株式会社
岡山県倉敷市中島1230 ☎ 0864-65-3680

新邦工業株式会社
東京都千代田区神田佐久間町4-18 ☎ 03-3861-5285

ダイカン株式会社
大阪市此花区島屋2-11-63 ☎ 06-466-4601

大同鉄器株式会社
尼崎市杭瀬南新町3-2-21 ☎ 06-488-2468

株式会社東京ドラム罐製作所
東京都葛飾区東四ツ木2-23-16 ☎ 03-3695-8511

東邦シートフレーム株式会社
東京都中央区日本橋3-12-2 ☎ 03-3274-6212

株式会社長尾製缶所
和歌山県有田郡吉備町野田144 ☎ 0737-52-2591

日鐵ドラム株式會社
東京都江東区亀戸1-5-7 ☎ 03-5627-2311

株式会社前田製作所
東京都港区新橋1-5-5 ☎ 03-3573-7101

森島金属工業株式会社
千葉県佐倉市大作2-5-5 ☎ 043-498-3551

株式会社山本工作所
北九州市八幡東区大字枝光1950-10 ☎ 093-681-2431

株式会社ユニコン
大阪府高石市高砂2-7 ☎ 0722-68-0515

ひびき No.20(平成10年8月26日発行)

発行人 ドラム缶工業会
事務局長 藤野 泰弘

本誌は再生紙を使用しています。